

## 群馬大学医学部附属病院の病院長候補者について

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議細則第2条第1項第2号の規定に基づき、学長に推薦する病院長候補者を選考したので、群馬大学医学部附属病院長候補者選考実施内規第7条の規定に基づき、下記のとおり公表する。

### 記

#### 1 病院長候補者氏名

(氏名)	(現職名)
齋藤 繁	群馬大学理事（病院担当） 群馬大学医学部附属病院長 群馬大学学術研究院教授（大学院医学系研究科主担当）

#### 2 選考した理由及び選考の過程

(選考した理由)

別紙のとおり

(選考の過程)

- 令和6年9月18日（水）  
第1回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
  - 群馬大学医学部附属病院長選考基準案の策定
  - 群馬大学医学部附属病院長候補適任者推薦要項の策定
- 群馬大学医学部附属病院長候補適任者の推薦受付
  - 公示日：令和6年10月2日（水）
  - 推薦受付期間：令和6年10月3日（木）～25日（金）
  - 推薦受付状況：締切日までに1名の推薦があった。
- 令和6年11月5日（火）  
第2回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
  - 群馬大学医学部附属病院長候補適任者資格等審査
  - 群馬大学医学部附属病院長候補適任者の面談実施方法の決定
- 令和6年11月21日（木）  
第3回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
  - 群馬大学医学部附属病院長候補適任者1名に対する面談の実施
  - 学長に推薦する群馬大学医学部附属病院長候補者の決定

令和6年11月21日

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議

群馬大学医学部附属病院長候補者氏名 齋藤 繁

### 選考の理由

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議においては、同病院長候補者選考のための選考基準及び実施内規に基づき、同病院長候補者の適任者を推薦するための推薦要項が定める推薦書等の書類及び同適任者への面談により選考を実施し、以下の理由により、上記の者を群馬大学医学部附属病院長候補者として学長に推薦することとした。

- ① 現病院長として、地域医療の中核的な重責を担い、県内を含め各地で活躍する医療系高度専門人材の養成・供給、物価高騰が続く中での確実な病院経営、医師の働き方改革を見据えた「大学病院改革プラン」の策定・実施、さらに全国に先駆けての診療記録（電子カルテ）の共有など患者参加型医療の推進や医療安全のための構成員への意識の徹底など、これまで同氏が中心的に進めてきた取組の継続・発展が期待できる。
- ② 少子高齢化が継続し、現に深刻化している地域の医師不足等が引き続き懸念される中、「群馬県保健医療計画」を踏まえた医師派遣等による地域医療体制の構築、各診療領域の重要症例・治療困難症例への効果的・先進的な医療提供等に尽力してきた同氏は、今後、持続的・基幹的な地域医療拠点を構築していくため、群馬県立小児医療センターの本学附属病院隣接地への移転が決定したことを前提とする「病院再開発」に向けた構想の策定、実現への着手についても適任と考えられる。
- ③ 財政上、人員確保上、多様かつ複雑な課題を抱えている本学病院の経営のみならず、国立大学法人が設置する附属病院として、広く社会から要請されている役割を常に意識し、様々なメディカルスタッフを巻き込んだ多職種連携チームの育成、活動促進等を強く打ち出していることは、特に現下の医療環境を取り巻く厳しい状況において高く評価できる。

以上が推薦理由であるが、群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議としては、病院長候補者に対し、群馬大学医学部附属病院がこれまで推進してきた医療の質の保証や医療安全に係る改善・改革を継続して実行すること、医学部との連携によるシームレスな医学教育の充実、臨床研修医を始めとした若手医師の獲得・育成、地域医療へのさらなる貢献などの課題にも意欲的・積極的に取り組み、群馬大学及び群馬大学医学部附属病院の発展のために尽くしていただくことを強く要望する。